令和 8年 11月 1日

支援プログラムの公表状況に関する届出書

法 人 名	はぴねす福祉会		
事業所名	障がい児デイサービスセンターあゆみの里		
サービスの種別	①児童発達支援 ②放課後等デイサービス ③①・②の多機能 ④居宅訪問型児童発達支援		
事業所所在地（区市町村名）	島根県益田市横田町2087－1		
指 定 年 月（児童発達支援）	年 月	指 定 年 月（放課後等デイサービス）	2025年 4月
指 定 年 月（居宅訪問型児童発達支援）	年 月		

【支援プログラムの公表状況】

公表の実施時期	2026年 11 月
公 表 方 法	① インターネット ② その他（ ） *①の場合は公表内容欄にURLを記載、②の場合は公表内容欄に詳細を記載*
公 表 内 容	URL http//www/happiness-ayumi.or.jp/

備考1 支援プログラムの公表については、都道府県に届出がされていない場合に減算することとなる点に留意下さい。
2 減算は、届出がされていない月から届出がされていない状態が解消されるに至った月まで、障害児全員について減算する点に留意下さい。
3 都道府県に届出がされていない場合であっても令和7年3月31日までの間は減算されませんが、総合的な支援と支援内容の見える化を進める観点から、速やかに取組を進める必要がある点に留意下さい。

（別添資料１）

事業所名　障がい児デイサービスセンター　あゆみの里

支援プログラム

作成日　2026 年 10 月 30 日

法人（事業所）理念	「はぴねす」「HAPPINESS」という言葉は「幸福を追求する」という意を表しています。人間らしく自分らしく生きていきたいという幸福追求の想いは、ひとりひとりが有している個人として当たり前の基本的欲求です。ひとりひとりが自由に、自立や自己表現を目指して生きていく事ができ、個人の尊厳や人格が大切にされる環境が整えられなくてはなりません。 当法人は障がい者が住み慣れた地域で、安心した生活が送れ、自立した生活ができるよう「広い心とさわやかな笑顔」をモットーとして、信頼される施設・利用しやすい施設を目標にサービスを提供します。											
支援方針	活動を通じて、日常生活（家庭・学校生活）を送る中で自信のない事・苦手な事が少しでも前向きに取り組む気持ちになるように、また得意な事はさらに自信を持って取り組むようになるための支援を行います。児童の放課後・学校休業日の活動の場を提供します。 「ここは大丈夫」「ここならほっとできる」と感じてもらえる《安心・安全な居場所作り》を心がけ、ひとりひとりの思いに寄り添った支援を行うように努めてまいります。											
営業時間	平日 学校休業日	13 8	時	30 30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	（あり）　なし	
	支　援　内　容											
本人支援	健康・生活	健康観察（検温、視診、学校・保護者からの申し送り）、生活動作（食事、排泄、着脱）の支援 外出（戸外でのルールを知る、安全に行動する、交通ルールを知り守る、身体を動かす） 調理実習（簡単な調理の体験、食への興味へつなげる）避難訓練（指示に従って行動する、経験を積み重ねる）											
	運動・感覚	ラジオ体操（学校休業日）、散歩、身体を動かす遊びや軽い運動（バランスボール、ボール遊び、トランポリン等）を行う（体幹、筋力の維持） 個別課題（ボタン、スナップ、ひも通し等の微細運動） 音楽に合わせてのふれあい遊び（聴覚・触覚・リズム感）											
	認知・行動	外出（車内でのルールを知り、守る。季節の変化を感じる）、室内遊び（粘土、スライム、ボードゲーム、ぬりえ等） 個別課題（文字、数、表情・気持ちの理解、空間把握の認知） 視覚支援（スケジュール提示、タイマー、時計で次の行動に移る）											
	言語 コミュニケーション	自分にあったコミュニケーションツール（言葉、身振り、絵カード、書字等）で表出する 個別課題（特性に応じた読み書き） 遊びを通して友だちと話したり、共感し合える場面で聞く力、話す力、関わる力を養う											
	人間関係 社会性	個々の遊び、職員との遊び、友だちとの遊びと個々の様子に応じて無理のないよう移行する 他事業所との交流等を通じて人間関係を広げる 外出（公共の場での約束やルールを知り守る）											
家族支援	モニタリング（6か月に1回）、個別支援会議（年1回）、関係機関との連携、困りごとの相談（随時受付け、ご希望の際は面談の調整をさせていただきます）									移行支援	必要に応じて学校等を訪問し、支援方法等の関わり方について共通理解を図り支援目標、支援内容の設定を行っています。事業所以外での生活も充実するよう取り組んでいきます。	
地域支援・地域連携	各関係機関との連携（相談事業所、学校、放課後等デイサービス、放課後児童クラブ等）を図り、自立に向けたサポートを行い支援をしていきます。									職員の質の向上	外部研修、内部研修、リモート研修を行い、支援方法等検討しながら職員のスキルアップに努めます。	
主な行事等	各季節イベント行事（七夕、クリスマス会、ひな祭り等） 外出イベント（初詣、花見等） 保護者交流会											

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児デイサービスセンター　あゆみの里			
○保護者評価実施期間	令和８年　10月　1日	～	令和８年　10月　15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	14名	（回答者数）	13名
○従業者評価実施期間	令和８年　10月　1日	～	令和８年　10月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　10月　23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの様子に応じた個別活動と集団活動ができる	その日のこどもの様子によって過ごす場所を決めています（広いホール、個室、庭など）。休息が必要なこどもは横になる事ができる空間があり、活動と休息のバランスをとることで、活動に参加しやすくなっています。こどもが安心して過ごせる場を提供するために、人的・物的環境を整えることに努めています。手話通訳士･者がおりますので、コミュニケーションのサポートができます。また強度行動障害支援者養成実践研修を受講した支援者も配置し、状況に応じた支援を行う体制を整えています。	個室で個別課題に集中して取り組む、戸外で友だちとかかわりながら体を動かし発散するなどそれぞれの課題に応じた支援を行っていますが、周知に至らないことがありますので、個別支援計画に明記するだけでなく、保護者の方へわかりやすく目的などを説明させていただきます。
2	大きなプールや建物続きの広い庭、食堂（調理器具完備）がある。	長期休みは食への興味へつなげる目的で調理実習を行い、芝生の広い庭でボール遊びや虫捕り、プール遊びなど身体を動かす活動ができます。戸外、室内と分かれて過ごすことで少人数で落ち着いて遊ぶことができます。	こどもの様子に応じた活動内容を考え、広いスペースを利用し安心して過ごせる場所作りに引き続き努めます。
3	益田養護学校と隣接（友だちと一緒に徒歩下校する）	学校と敷地がつながっているので、道路に出ることなく徒歩で下校する事ができます。車での登下校が主となっているこどもにとっては、友だちとカバンを持って下校する経験の場の提供は大切な事だと考えています。安全面に配慮しサポートしていきます。学校と合同避難訓練を実施し、連携をとっています。	立地条件を活かし、学校と情報共有を引き続き行う事に努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	交流行事の実施 ・地域の子どもや兄弟（姉妹）、保護者間交流、ペアレント・トレーニングなど	慣れない人、場所で過ごすことが難しいなどこどもたちの状況、それぞれのご家庭のご事情など、みなさまに喜んでいただける参加方法を考えることに苦慮している。	交流の場でこどもたちが不安を感じることのない参加の仕方を検討し、周りの方のご理解のもと、地域の方やご家族と触れあう経験ができるよう努めていきます。子育てについての話や研修会など保護者の方に少しでも安心していただけるきっかけ作りを行い、参加していただきやすい方法を考えていきます。
2	送迎範囲が限られている	1対1対応が必要な児童が増えている現状から、送迎の人員確保に苦慮している。	児童の安心・安全を最優先に考えながら、できる範囲で保護者のご要望に応えるよう努めていきます。
3			

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児デイサービスセンター　あゆみの里

公表日　令和8年　11月　6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	ホール、個室、庭など一人一人の様子に応じて過ごすことができる場所があるので、落ち着いて過ごすことができます。	利用人数に限らず、その日のこどもの様子で複数のスペースが必要な場合は職員間で確認をとり、適切な支援ができるように努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	始業時のミーティングで体制、こどもへの配慮を話し合い、配置を考えています。	配置基準は満たしていますが、その日の子どもの様子によっては個別対応が必要で、職員が不足しているように感じるので増員する場合があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	全室バリアフリーで、廊下には手すりを設置しています。刺激になるものが目に触れないような環境作りに努めています。	写真提示など視覚的に情報伝達を行い、子どもたちが活動しやすい環境作りに努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃を実施し清潔な環境を維持します。感染症防止の対策で嘔吐処理の実践研修に参加し、適切な対応ができるよう心掛けています。	引き続き、清潔で快適な生活空間を提供できるよう努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	休息や集中して個別課題の取り組むために個室を利用する事ができます。	こどものサインを見逃さず、クールダウンできる環境が必要かどうか、本人の同意、支援者の配慮で安心・安全に使用できるように努めていきます。
業務改	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	職員会議（月1回）で話し合う機会を設けています。必要があれば会議以外でも話をする時間を設けています。	業務目標・資質向上目標、個人目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。全職員への周知に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表の結果について職員で話し合い、意識して業務するよう心掛けています。	評価表の結果のみならず、随時ご要望に対しての対応を職員間で話し合う場を設けることに努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	月に1回職員会議を行っています。毎日、始業前の打ち合わせで意見交換しています。	引き続き、職員間で意見交換する場を持ち、業務改善に努めていきます。

改善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者による外部評価は行っていませんが、法人の第三者委員の方に利用者への聞き取りや改善のアドバイスをいただく会を開催しています。	引き続き、第三者委員の方からのアドバイスをもとに職員で話し合い、業務改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	外部研修、内部研修、リモート研修などすべての職員が受けられるようにしています。事業所内で研修報告（職員会議、報告書の回覧）を行い、内容を共有しています。	引き続き、研修に参加し職員の資質の向上を図り、よりよい支援に繋げるよう努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援方針に基づき、4つの基本活動から結びつけた《ねらい（5領域）》を組み入れた支援プログラムを作成しています。	引き続きホームページで公表するだけでなく、掲示を行い周知できるよう努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	こどもの様子、こども・保護者の方のニーズから支援目標、内容を考え個別支援計画を作成しています。	多方面から子どもの姿を見ていくため、職員間で状況報告を行い、現状に応じた計画作成に努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ひとりひとりの状況を考慮し、必要な支援を職員間で話し合い、個別支援計画を作成しています。	現状に応じた計画であるか職員全員で見直す会議を定期的に行っていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	0	職員会議で個別支援計画書を基に中間、終了評価を行い、支援の振り返りを行っています。	子どもの様子、配慮など職員間で共有し、チームで支援を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	学校、専門機関と保護者の承諾のもと、情報共有し助言を受けながら対応しています。	引き続き子どもひとりひとりの強み、弱みを職員全員が共有し、計画書を作成し支援をおこなうように努めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	項目ごとに設定することで支援内容が具体化され、職員が適切な支援を行うことができるよう努めています。全体的な目的をひとりひとりの状況に応じて照らし合わせ、支援内容を考えています。	引き続き職員会議で支援の振り返りを行い、計画書の見直し等、ひとりひとりに合った支援内容を考え実践していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員会議の中で、中間、終了評価を行い、立案の参考にしています。	引き続き、職員間でこどもの状況に合った活動プログラムを提供できるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	こどもによっては固定化がいい場合もあるので、ひとりひとりの状況に応じてプログラムを考えています。	引き続き、こどもの状況に応じた活動プログラム立案に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別に中間、終了評価を行い、ひとりひとりの状況に配慮した活動を組み入れた計画を作成しています。	引き続き、集団、個別活動を適宜組み合わせて、こどもの状況に応じた支援計画を作成し、支援するように努めます。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	子どもの様子について事前に職員間で共有し、配慮して支援を行っています。打ち合わせに参加できない職員も情報を共有できるよう、閲覧できる記録用紙を準備しています。	引き続き職員間の情報共有に努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	0	当日の振り返りが難しい時は、翌日の始業前に打ち合わせを行っています。記録用紙を閲覧し、全職員への周知に努めています。	引き続き職員間の情報共有に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	保護者への連絡帳や個人記録に毎日記入しています。個人記録をもとに職員会議で話し合い、計画を作成し支援に繋げています。	引き続き、記録に努め、支援の検証・改善に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	年に2回計画の見直しを行っています。モニタリング時以外でも、こどもの様子や保護者の方のご要望に応じて、必要な時は見直しを行っています。	引き続き、日々の記録をもとにモニタリングを行い、こども・保護者の方のニーズに応じた計画の作成に努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0	職員全員がいつでもガイドラインを閲覧できるようにしています。	職員会議で学習会を行い、ガイドラインの周知に努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	こどもの行動に対して支援者が先走ることなく、待つことを意識して支援を行うよう心掛けています。	見守りの支援を基本にこどもからの働きかけを待つよう意識していきます。ひとりひとりのタイミング、リズムを大切にした誘いかけに努めます。
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。状況報告書や電話で相談事業所に情報提供しています。	事前に職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者が参加することを続けていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて、電話連絡、ケース会議、見学を通して情報共有し、相互理解に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校から年間計画・行事予定、下校時刻表をいただき、情報を把握しています。緊急時やトラブルが発生した時は電話で連絡調整を行います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	相談事業所を通したり、直接電話連絡をして情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	必要時には状況提供書を作成し、相談事業所を通して情報提供を行います。	引き続き必要に応じて対応していきます。

保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	3	相談事業所、学校を通じて会議や研修に参加し助言をいただいています。	引き続き関係機関との連携し、よりよい支援ができるよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	ひとりひとりの状況を考慮し、参加の仕方を考えています。事業所間交流は今後も続けていきます。	子どもたちの負担にならない参加の方法を引き続き考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	担当者が出席し、報告を受けています。	報告内容により、全員周知が必要な場合は職員会議で伝えていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	お迎えの時間や連絡帳を活用し情報共有を行っています。ご希望がある場合は面談の機会を設けております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	集団では実施しておりませんが、個別に困りごとのご相談を受け、ご家庭でできる事をお伝えしています。12月の保護者交流会では講師をお招きし、ご家族参加でふれあい遊びの研修会を行います。	家族支援プログラムの実施に向け、外部講師による保護者研修会を今年度初めて開催する予定なので、反省を踏まえて今後の開催方法を考えていきます。
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	お迎え時や会議の場で説明させていただいています。変更があった場合はご説明の後、ご署名をいただいております。	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	会議に参加し、保護者の方、関係機関との共通理解のもと、個別支援計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0	説明をさせていただき、ご署名を通じて同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	4	個別支援会議以外の場でも、面談や電話でのご相談を受け付けております。	ご家族が直接事業所に伝えにくい場合も想定し、相談員と定期的に連携して多方面から情報を収集できるよう努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4	それぞれのご家庭のご事情がある中で、集まることが難しい現状ですが、お迎え時に職員を仲立ちに保護者の方々がお話される場の提供は行っています。お互いのこどもの事を知る機会となればと思います。12月６日に保護者交流会を開催する予定です。	

への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	窓口や委員会を設置し体制を整えております。保護者の方との日々のやり取りを深め、ご要望を伝えやすい関係作りに努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	6	会報等定期的に発行しておりませんが、長期休みは予定表で活動内容をお知らせし、個別の連絡帳に写真を掲載し、活動の様子がわかりやすくお伝えできるよう努めています。	保護者の方が安心してご利用していただけるよう、活動内容のお知らせの方法の検討を行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報の取り扱いには十分注意し、必要な場合は保護者の方の承諾のもと使用しております。書類は鍵をかけて保管しております。写真掲載に関しては同意書に基づき対応しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	ひとりひとりの状況に合わせた方法で意思疎通を図り、支援に努めています。学校、専門機関の助言をもとに、必要時にはコミュニケーションツールを使用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	夏休み等長期休みに、放課後児童クラブや保育園など地域の方との交流を予定しています。他事業所との交流は行っています。	慣れない環境で過ごすことが難しいこどもなど、ひとりひとりの状況に応じた方法を考慮し、交流の場を持つことに努めていきます。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	法人全体で作成しています。閲覧できるように玄関にファイルを置いています。計画に基づき避難訓練を行い、記録しています。	今後もマニュアルの見直しや職員研修を継続し、安全意識の向上に努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し、毎年見直しを行っております。法人全体で避難訓練計画に基づいた訓練を実施しております。	引き続き、訓練を通して職員が適切な対応ができるよう努めます
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	医師の指示書に基づき対応させていただいております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5	現在、対象者はおられません。	必要に応じて医師の指示書や保護者の方からの情報に基づき、対応を検討いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	法人内で委員会を設置しマニュアルを検討、作成しています。計画に基づき避難訓練、AED講習会、月1回の安全点検を行っております。	引き続き、訓練を通して職員が適切な対応ができるよう努めます

の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0	緊急連絡先の確認、警報発令時の対応について保護者の方とお話しさせていただいています。	引き続き、マニュアルの閲覧を通して保護者の方への周知に努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットの事例は、ミーティングで報告し、記録に残し職員間で情報共有しています。	事案発生時の共有体制整っているが、ヒヤリハット事例を含めた定期的な分析を通し、事故の未然防止に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	法人内で虐待防止委員会を設置し、全体研修の場を設け、参加しています。グループワーク等で学んだ事を意識し、適切な支援を心がけています。	引き続き、学びの中で支援の振り返りを行い、職員の資質向上に努めていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	個別支援計画に明記し、ご確認後に同意をいただいております。職員の対応については、実施した場合に保護者の方に状況を報告し、記録に残すことになっています。	支援計画の身体拘束に関わる記載内容についても定期的に見直していきます。

自 己 評 価 結 果 報 告 書

令和　8年　11月 1日

島根県健康福祉部障がい福祉課長　　様
（指導給付係）
FAX：０８５２－２２－６６８７

所在地　島根県益田市横田町２０８７－１
法人名　社会福祉法人はぴねす福祉会
代表者名　理事長　寺戸　紳児

１．事業所の状況

事業所の名称	障がい児デイサービスセンター　あゆみの里	
事業の種別	□児童発達支援　■放課後等デイサービス　□保育所等訪問支援	
事業所番号	3250800020	
所在地	〒699-5131	
	島根県益田市横田町2087－1	
連絡先	TEL	(0856)31-5100
	FAX	(0856)31-5102
	E-mail	jidou@happiness-ayumi.or.jp

２．取組時期

①保護者による評価	令和　8年　10月　15日
②職員による評価	令和　8年　10月　15日
③訪問先による評価 （保育所等訪問支援のみ）	令和　　年　　月　　日
④事業所全体による評価	令和　8年　10月 23日

３．公表結果

公表日	令和　8年　11月　6日
公表の方法	■　ホームページ（URL　http//www/happiness-ayumi.or.jp/　）
	□　会報等（保護者へのお知らせ）
	□　その他（　　）

担当者	椋　延子
連絡先（TEL）	(0856)31-5100

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	障がい児デイサービスセンター　　あゆみの里

公表日 令和8年11月6日

利用児童数 令和8年10月1日16名（15世帯）　　回収数 13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				広々としていると思う。	引き続き、ひとりひとりの様子に応じて、安心して過ごせる場所の提供を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1				配置基準は満たし、常勤、非常勤職員で体制を組んでいます。引き続き、安定した人員配置を継続できるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					居室は段差のないバリアフリーの構造になっています。刺激になるものが目に触れないような環境作りに努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				引き続き、毎日の清掃を継続し清潔で快適な生活空間を提供できるよう努めます。ひとりひとりの様子に適した環境の提供に努めます.
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・医療的な支援が必要になった時、お話を聞いてくださり、酸素飽和度を測り安静を保つ配慮をしてくださりました。 ･細かいことまでお話ししてくださるのでよく理解してもらえていると感じる。	日頃から個々の様子に応じた支援を行っていると感じていただけているとのお言葉をいただき、大変ありがたく思っております。引き続き、研修に参加し職員のスキルアップを図り、安心していただけるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	13					支援プログラムを基本にひとりひとりの様子に応じた個別支援計画を作成し、支援を行うよう努めます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				会議でしっかりと説明してもらえている。	引き続き、保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、支援目標について共通理解に努めます。

切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					放課後等デイサービスガイドラインに則した項目で計画を作成しています。ひとりひとりのニーズ、課題を分析し具体的な支援方法の記述に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			2		日々の様子を記録し、記録に基づき職員間で話し合い、目標設定を行い計画作成をしています。引き続き、個別支援計画に沿った支援に努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2		3		引き続き、子どもたちがさまざまな経験を通して持てる力を引き出す支援を行います。随時職員間で話し合い、子どもたちの姿に合ったプログラムを考えていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2		2		慣れない環境で過ごすことが難しいなどひとりひとりの状況を考慮し、学校休業日に事業所間交流をし、今後も続けていく予定です。
保護者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11			2		引き続き、支援内容や利用者負担額について具体的にわかりやすい説明を心掛けていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			2		引き続き説明させていただいた後にご署名をいただくようお願いします。随時ご相談を受け付けております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		2		集団では実施しておりませんが、お迎え時または電話等で、ご家庭でできる事をお話させていただいています（個別対応）
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11			2		連絡帳、お迎え時に困りごとのご相談、ご要望などやり取りをさせていただいています。お電話も受け付けておりますので、ご相談いただきますようお願いします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11			2	定期的面談はないが、助言はその都度いただいている。	引き続き個別支援会議の場以外でも、必要と思われる時にご相談を受け付け、面談の機会を設けてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			2		引き続き子どもたち、ご家族の方に寄り添った支援に努めます。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11			2		集団で過ごすことが難しい子どもたちにとって、イベントが安心できる場とは限らないこともあり、当事業所では個別対応をいたしております。ごきょうだいの困りごとなどいつでもご相談に応じます。12月6日に保護者交流会の開催を予定しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			2		ご要望に応じて電話、面談、連絡帳にて対応させていただいております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			2	子どもの体調不良時はその都度対応してくださいました。	引き続き、ひとりひとりの様子に応じた方法で意思疎通を図り、適切な支援を行うよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	4		SNSは利用しておりませんが、法人のホームページにてお伝えしております。活動につきましてはおたより、立て看板（玄関）に掲示させていただいております。ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				個人情報を含む書類やデータの扱いには細心の注意を払い、原則としては持ち出しを禁止としております。引き続き、適切な管理に努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			4		マニュアルを作成しておりますが、保護者の方への周知については行き届かない面があります。マニュアルの掲示など周知を図るよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			2		法人全体、放課後等デイサービスで計画に沿って定期的に行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			2		安全計画を作成し、玄関に掲示しております。ぜひご覧ください。分かりやすくお伝えできるよう周知方法の工夫にも取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	事故がなかったのでわかりません。適切に対応してくれると思います。	非常時対応のマニュアルに従い対応させていただきます。万が一事故や怪我があった際には、速やかにご連絡し、状況や対応内容を丁寧にお伝えいたします。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				・学校で命にかかわる重大なインシデントが起きた時、子どもの心身を守ってくださいました。 ・嫌がることはなく上手く気分をのせてもらっていると思う。	引き続き、お子さま、保護者の方に「ほっとできる居場所」であり続けられるよう取り組んでまいります。不安を感じておられる時はいつでもご相談いただき、今できることを一緒に考え支援に繋げてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1		2	長期休みの利用ですが楽しみに通っています。	ご利用を楽しみにしてくださりありがとうございます。見通しを持ち、安心して過ごせる場所となるよう人的・物的環境を整え支援を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				個別で丁寧にかかわっていただき、環境調整等いろいろと配慮してくださりいつも本当にありがとうございます。 ・充分にしていただいて助かっています。	温かいお言葉に職員一同大変励まされております。今後もみなさまにご満足いただけるようお子さま、ご家族の方々に寄り添った支援を心がけてまいります。